

1. 科目名（単位 数）	日本語学史（2単位）	3. 科目番号	EJJP2142
2. 授業担当教員	東條 和子		
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	日本の歴史に沿って、日本語がどのように研究されてきたのか、主に明治以前と以降に分けて学ぶ。また、日本語学史の発展は日本語教育と密接な関係にある（西洋人の日本語学習から貴重な文献が残されている（ロドリゲス著（1604－08『日本大文典』）など））ことから、日本語教育史についても取り上げる。		
8. 学習目標	1）日本語学史の時代区分が概観できる。 2）日本語学史の時代区分に沿ってどのような研究が行われたか、理解できる。 3）日本語学史において西洋の影響について概観できる。 4）日本語教育史の時代区分がわかる。 5）日本語学史と日本語教育史はどのような関係にあるのか、理解できる。		
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	・ 毎回授業でワークシートを配布する。次回の授業時に提出すること。ワークシートの内容は、主にその回の授業で学んだことの要点をまとめるものである。 ・ レポート形式の試験を実施する。紙媒体の資料の持ち込み可とする。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】衣畑智秀編『基礎日本語学』ひつじ書房、2019 ISBN978-4-89476-946-5 【参考書】授業の中で適宜紹介する。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 時代に沿って日本語学史の特徴が理解できたか。 2. 日本語学史と日本語教育史の影響が理解できたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への出席・参加態度 総合点の30％ 2 期末試験（レポート） 総合点の30％ 3 提出課題（ワークシート・発表） 総合点の40％ なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位修得を認めない。		
12. 受講生への メッセージ	人間は言葉と共にあります。日々の生活の中で変遷し、これからも変遷していくであろう日本語の歴史を、日本語学という観点から、資料を読みながら学んでいきたいと思います。日本語学史を学ぶことは、日本語教師を目指す学生のみならず、日本語に関心のある学生にとっても意義のあることと思われます。		
13. オフィスアワー			
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 「日本語学」とは	事前学習	シラバス、教科書の目次、pp.284-285を読み、大切だと思うところに線を引いておく。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第2回	「日本語学史」古代・中世 辞書の編纂 古典解釈と言語研究 定家仮名遣いの意味 歌学秘伝とテニヲハ論	事前学習	pp.286-289を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第3回	「日本語学史」近世 歌学秘伝の公開 国学者の言語研究 契沖	事前学習	pp.290-291を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第4回	「日本語学史」近世 賀茂真淵 富士谷成章 本居宣長 鈴屋門下の言語研究	事前学習	pp.292-296を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第5回	「日本語学史」近世後期 近世後期の言語研究 活用研究の精緻化 辞書の編纂 音義言霊派	事前学習	pp.296-298を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第6回	「日本語学史」近代 西洋言語学の流入と「国語学」の成立 音声・音韻、文字研究 大槻文彦 山田孝雄 松下大三郎	事前学習	pp.299-303を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。

第 7 回	「日本語学史」近代 文法研究 橋本新吉 時枝誠記 口語（現代語）文法研究への流れ 語彙・方言研究	事前学習	pp.303-305 を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第 8 回	「日本語学史」近代 外国語としての日本語研究 キリシタン宣教師 ヨーロッパ東洋学・日本学 幕末・明治期の宣教師・外交官 中国・朝鮮における日本語研究	事前学習	pp.305-309 を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第 9 回	「現代日本語研究」考察 コーパスと統計 コーパスの特徴 コーパスの種類	事前学習	pp.234-240 を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第 10 回	「現代日本語研究」考察 コーパスと統計 コーパスの利用方法	事前学習	pp.240-248 を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第 11 回	「日本語教育史」 「日本語学習」から「日本語教育」へ 侵略戦争と日本語教育 台湾、朝鮮半島、「満州国」「南洋諸島」における日本語教育	事前学習	配布資料を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第 12 回	「日本語教育史」 日本国内の留学生に対する日本語教育 第二次世界大戦下の中国および東南アジアにおける日本語教育 アメリカ合衆国とイギリスにおける戦時下の日本語教育 日系人の継承語教育	事前学習	配布資料を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第 13 回	「日本語教育史」 1945 年以降の日本語教育 戦後の日本国内、および海外における日本語教育	事前学習	配布資料を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第 14 回	「日本語教育史」 日本語学習者の多様化 国内における日本語教育の整備 日本語教育の現在	事前学習	配布資料を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第 15 回	「日本語学史」「日本語教育史」のまとめ	事前学習	「日本語学史」「日本語教育史」について、ワークシートを見直す。
		事後学習	授業の振り返りシートを完成し、提出する。